



2026年1月23日

各 位

会 社 名 インテグラル株式会社
代 表 者 名 代表取締役パートナー 山本 礼二郎
(コード番号 : 5842 東証グロース)
問 合 せ 先 CFO&コントローラー 澄川 恭章
(TEL. 03-6212-6100)

3号ファンドシリーズからのキャリードインタレスト受領に係るお知らせ

今般、当社グループが運用するファンドであるインテグラル3号投資事業有限責任組合及びInnovation Alpha L.P.（以下、両ファンドを総称して「3号ファンドシリーズ」、といいます。）より、追加でキャリードインタレストを受領する見込みとなりましたので、お知らせ致します。

記

1. キャリードインタレストの概要

当社グループは、3号ファンドシリーズがハードルレート（出資履行金額に対して年率8%）を超過した場合に、3号ファンドシリーズからそれまでのファンド利益の累計額の20%をキャリードインタレストとして受領（役職員に帰属する部分控除後）することができます。

3号ファンドシリーズは、2017年の運用開始以降9件の投資実行を行い、これまで7件の投資回収（内、3件は部分投資回収）とその分配を実施しており、既にハードルレートを超過している状況にあります。

本日付で別途開示致しました「株式会社M&Iの株式譲渡契約締結のお知らせ」の通り、Roodhalsgans1株式会社による株式会社豆蔵に対する公開買付けの成立を条件として、当社及び3号ファンドシリーズが保有する株式会社M&I（旧株式会社豆蔵K2TOPホールディングス）の全株式を譲渡する予定です。

当該譲渡により、3号ファンドシリーズが追加の投資回収を行う見込であり、これまでの投資回収に基づく分配及び今回の追加の投資回収に基づく分配予定額を源泉として、当社グループは3号ファンドシリーズより追加でキャリードインタレストを受領する予定です。

2. 今後の見通し

今回のキャリードインタレストの受領による2026年12月期連結業績への影響額としては、収益は約36億円増収となり、税引前利益で約34億円、当期利益で約23億円増益となります。

なお、上記のキャリードインタレスト受領以降の3号ファンドシリーズに係る未実現キャリードインタレストの金額は、従前同様に今後の四半期毎の決算説明資料にて開示を致しますので、当該資料をご参照ください。

以上